

市政報告

鷺沼駅前広場とフレールを一体的に再開発

「悲願の聖マリアンナ医大病院へのバス直通路線実現へ」

民進みらい川崎市議会議員団 団長 おだかつひさ

平成28年12月9日に「鷺沼駅周辺再編整備」に向けた検討状況が市議会に報告されました。

◎計画概要と機能配置イメージは（下図参照）

計画概要の大きなポイントは、①現行の交通広場を使用しながら、新たな交通

広場の整備をおこなう②現行の交通広場とフレール鷺沼間の道路の廃止を含め、抜本的な渋滞対策をおこなう。以上の2点です。

◎市バスが新設路線を約束 この再開発に際して、聖マリアンナ医科大学病院や区役所を結ぶ路線の新設について、11月定例会の質疑で市交通局を質したところ、すでに検討していることが明らかにになりました。地域の悲願の実現に向けての第一歩です。

図の「業務等」と青で色分けされているところが「交通広場」で、現在の約2倍の約4400平方メートル

今後のスケジュールについては、平成29年度に具体的な事業計画の検討と確定、平成

具体的な施設の整備計画については、「文化交流」「子育て支援」「高齢者の外出支援」などの視点から、公共機能の整備を提言してきました。さらに、現区役所の場所の特殊性と施設の老朽化から「区役所の全面移転」も視野に入れての真剣な議論を区役所に求めています。

成31年度から事業実施（工事開始）となっています。本年は、この再開発事業計画に宮前区民の要望を真摯に取り入れられるよう、事業の具体化に邁進します。

30年度に都市計画決定、平成31年度から事業実施（工事開始）となっています。本年は、この再開発事業計画に宮前区民の要望を真摯に取り入れられるよう、事業の具体化に邁進します。



おだかつひさ

1961年幸区生まれ。駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業（地方自治、都市政策専攻）国会議員秘書を経て、2003年市議会初当選、現在4期目。議会運営委員会、文教委員会所属、民進みらい川崎市議団 団長。好きな言葉「知行合一」、有馬在住

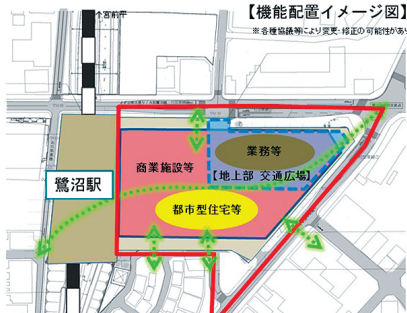


◎今後は「公共的な機能」の具体化が焦点に

今後のスケジュールについては、平成29年度に具体的な事業計画の検討と確定、平成

【機能配置イメージ図】

※各種協議等により変更・修正の可能性がります



- 交通課題
- 1) 手狭な交通広場（約2,200㎡、バス4、タクシー1）
 - 2) 近接する交差点による交通処理能力の低下
- 再開発地区内外の主な歩行者動線